

経営比較分析表（令和5年度決算）

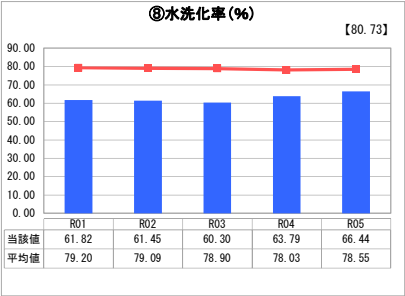
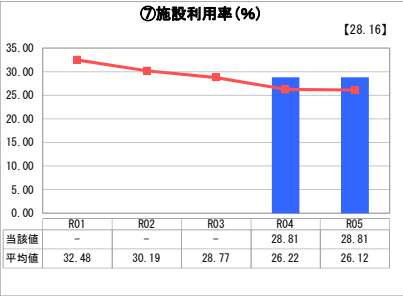
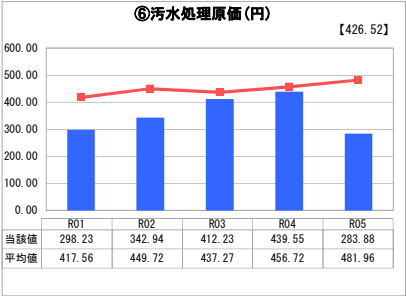
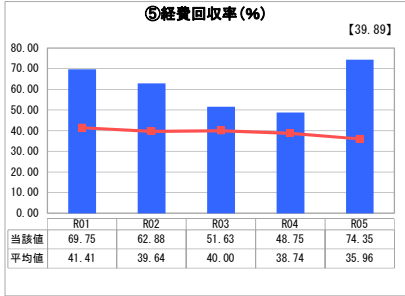
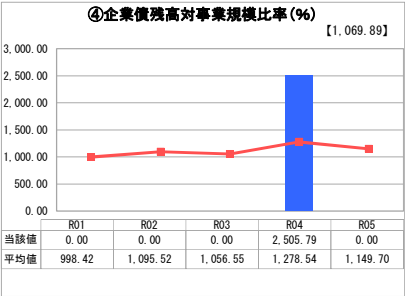
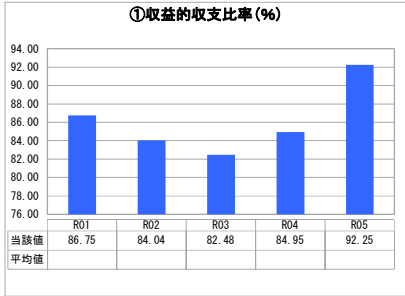
長崎県 壱岐市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	8.12	106.57	4,240

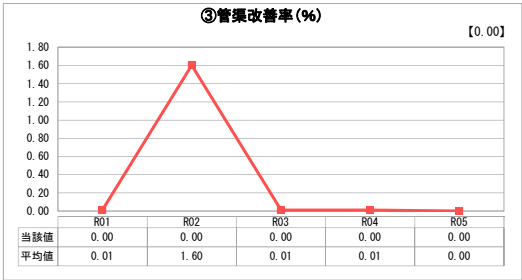
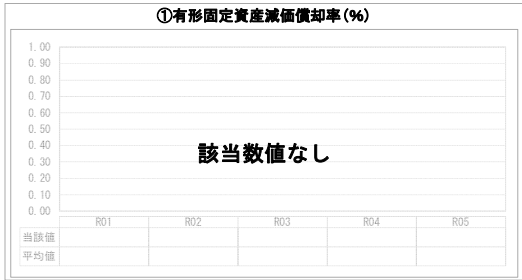
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
24,360	139.42	174.72
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,949	0.99	1,968.69

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当市では、3つの処理区（瀬戸・芦辺地区、恵美須地区、山崎地区）で漁業集落排水事業を実施している。

①収益的収支比率・⑤経費回収率については100%未満であるが、整備事業が完了し供用開始後の接続加入により、使用料収入は増加傾向にある。収支バランスを注視し、更なる加入促進を図り、経営の改善に努める。なお、令和5年度については、次年度から企業会計への移行に伴う3月末決算となったため、値が高くなっている。

⑥汚水処理原価については、全国平均・類似団体の平均を下回っているが、年々増加傾向にあった。本年は次年度から企業会計への移行に伴う3月末決算となったため、値が低くなっている。今後効率的な経営を行うため、施設の機能保全に努めるとともに、維持管理費の見直しを行う。

2. 老朽化の状況について

既存施設として、3つの処理地区を要しているが、最も古い施設で20年経過程度である。各施設ごとに機能診断を実施し、策定した機能保全計画に基づき施設の改修を行い、長寿命化に努める。

全体総括

計画の整備事業はH30で完了した。今後も下水道への接続の推進を図り、使用料収入の確保はもとより、将来の施設更新などを見据えて、維持管理費の見直しなど経営改善を図る必要がある。

各施設の機能診断結果と、将来の人口減少傾向も踏まえ、施設の統合検討など改善を行う必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。